

愛院大に ようこそ先輩



地図にツアーのルートを書き込んでいく学生たち＝日進市の愛知学院大日進キャンパスで

28日 日進キャンパスで施設ツアー

ことし設立70周年を迎える愛知学院大（日進市）は、8日～来月19日、卒業生と在學生が交流する初のイベント「ホームカミングデー」を4キャンパスで実施している。日進キャンパスでは、28日の大学祭に合わせて行う予定で、学生たちが「懐かしの施設を巡るキャンパスツアー」を企画している。

（平木友見子）

同大は1953年、名古屋市中区で商学部商学科のみでスタート。現在は10学部16学科に約1万1千人が在籍し、これまで14万人超の卒業生を輩出してきた。

当日のツアーを担当するのは、普段、高校生向けのオープンキャンパスの際に案内役を担う学生有志の大学広報スタッフ6人だ。心身科学部3年の高井優香さん（21）は「ターゲットが違つので、新しい施設だけでなく、学生時代の思い出を想起させるツアーに」、文学部3年の飯田優紀さん（21）は「いろいろな年代、学部出身の人が来ると思う。まんべんなく楽しめるよう心がけたい」と意気込む。

ツアーのルートは1周約40分。11日の会議では「（休講などを知らせる手段は）ウェブに替わったが、昔使われていた掲示板は懐かしいと思う」といった意見のほか、パリ五輪出場権を獲得した男子バレー日本代表

交流初企画の在學生「歴史教えてもらいたい」

で、卒業生の山内晶大選手の話題も。「ジャンプの最高到達点にシールが貼ってあるスポーツセンターは見どころ」など次々に提案があり、キャンパスの地図に付箋で印をつけながら、教室棟や食堂などを回る基本ルートを設定した。

在學生として歓迎するだけでなく、先輩との交流も楽しみにしている。同学部2年の寺田尚布さん（19）は「昔の大学の雰囲気や詳しく聞けたら」、総合政策学部4年の中島優美さん（22）は「私たちが現在の大学を紹介するだけでなく、歴史を教えてもらいたい」と話していた。

ツアーは28日午前11時～午後3時に計5回実施。当日予約制で各定員10人。

大学祭は29日まで。2日間とも午後5時半～8時半には、同大100周年記念講堂に、市の文化や歴史を紹介する映像を投影するプロジェクト「オンマップ」がある。誰でも観覧可能。無料。